

第 4 問

次の文章を読んで、後の問い(問1～6)に答えよ。(設問の都合で送り仮名を省いたところがある。)(配点 50)

(注1) 哀王あひわう冲ちゆう、字倉舒ハきやうじよ、少じよ 聡察わかくシテ岐疑(注2) ききよくタリ。

時ニ 軍国多事(注3) ニシテフルコトヲ、用レ 刑嚴重(注4) ナリ。太祖馬鞍モノハあん在レ庫ニ、而為ル鼠所齧ねずみのトカジル。庫吏

懼おそレ必死ス、議欲(注5) シテスルモ二面縛(注6) シテ首ヲ、猶懼ホ不レ免ル。冲謂ヒテハク曰、「待チ三ニ日ノ中ヲ、然後

自歸ラセヨト。」冲於イテ是ニ以テ刀穿ヲウガチ单衣ヲ、如クシ鼠齧ル者ノ、謬いつはりテ為シ失意ヲ、貌かほニ有リ愁色ニ。太

祖問フニレヲ之ヲ、冲对ヘテハク曰、「世俗以テ為ス鼠齧ル衣者ヲ、其主不吉ナリト。今单衣見ル齧ラ、是以テ

憂戚(注6) スト。」太祖对ヘテハク曰、「此妄言耳(注7) ナル。無キ所苦シム也。」俄にはかニシテ而庫吏以テ齧ラルル鞍くらヲ

聞(注7) ス。太祖笑ヒテハク曰、「兒衣在レ側ニ、尚齧ラル、況鞍懸ケタル柱乎ニヤト。」一無レ所問フ。冲仁

愛識達、皆此類也。

凡ソ応ニ罪戮リクス、而為リ冲微ノヒモカニト所ニ弃理(注8) スル、頼リテ以テ济宥(注9) テ者、前後数十ナリ。太祖数しばしば

对^{シテ}群臣^ニ称^イ述^シ、有^リ欲^{スル}レ^{ヘント}伝^レ後意^ヲ。年十三^{ニシテ}疾病^{ヤマリ}、太祖親^{ミツカラ}為^ニ請^フレ命^ヲ。及^{ビテ}レ
 亡^{スル}、哀^{カナシム}コト甚^シ。文帝寬^{ブンテイ}諭^{スルニ}、太祖曰^{ハク}、「此我之不幸^{ナルモ}、汝曹之幸也^{ナンガ}。」
 (陳寿「三国志」による)

- (注)
- | | |
|--|------------------------|
| 1 哀王冲——三国時代魏の曹操の子、曹冲。 | 2 岐嶷——才知に秀でていること。 |
| 3 軍国——軍事と国政。 | 4 太祖——魏の曹操。 |
| 5 面縛——自ら両手を後ろ手に縛ること。罪に服する気持ちをおこわす。 | 7 聞——申し上げる。 |
| 6 憂戚——恐れ心痛める。 | 9 濟宥——救済し、罪を赦すこと。 |
| 8 弁理——処理する。 | 11 疾病——病気が重く危篤におちいること。 |
| 10 伝後——後継者にする。 | |
| 12 請命——死なないように祈ること。 | |
| 13 文帝——曹操には二十五人の息子がいたが、その嫡男、曹不のこと。この時にはまだ帝位にはついていないが、後に即位したので、ここでは「文帝」と記されている。 | |
| 14 寬諭——なだめる。 | |

問 1 傍線部(ア)「首」・(イ)「称」と同じ意味で用いられている語として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は **28** ・ **29**。

(ア) 「首」
28
 ⑤ ④ ③ ② ①
 自首 首肯 斬首 首位 部首

(イ) 「称」
29
 ⑤ ④ ③ ② ①
 呼称 称号 对称 称赞 敬称

問 2 傍線部 A「此妄言耳。」とあるが、太祖はどのようなことを「妄言」とみなしているのか。文中の語句(傍線部②～④)で答えるとするばどれか。最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は **30**。

- ① a 軍国多事、用刑嚴重。
- ② b 議欲面縛首罪、
- ③ c 待三日中、然後自帰。
- ④ d 以刀穿单衣、
- ⑤ e 謬為失意、貌有愁色。
- ⑥ f 鼠齧衣者、其主不吉。

問3 傍線部B「兒衣在側、尚齧、況鞍懸柱乎。」の解釈として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は

31。

- ① 身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、いっそ鞍を柱に懸けておいたらどうだろうか。
- ② 太祖の衣が子供の傍らにあってさえかじられるのだから、いっそ鞍を柱に懸けておいたらどうだろうか。
- ③ 身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、鞍を柱に懸けておくべきではなかった。
- ④ 太祖の衣が子供の傍らにあってさえかじられるのだから、柱に懸けてある鞍がかじられるのは当然だ。
- ⑤ 身近にあった子供の衣でさえかじられるのだから、柱に懸けてある鞍がかじられるのは当然だ。

問4 傍線部C「一無所問。」の意味として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

32。

- ① いっさい責任を追及しなかった。
- ② すこしも疑いの余地がなかった。
- ③ すこしも聞きただすものがいなかった。
- ④ だれ一人として見舞うものがなかった。
- ⑤ だれ一人として怪しむものがなかった。

問5 傍線部D「沖仁愛識達、皆此類也。」とあるが、「此」は哀王のどのような行動を指すのか。最も適当なものを、次の

① ～ ⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

33。

- ① 自分の衣に刀で鼠がかじったような穴をあけてしまったが、鞍を鼠にかじられた倉庫番とともに進んで自分たちの罪を認めることで、かえって太祖を感嘆させたこと。
- ② 太祖の鞍を鼠にかじられたのみならず、太祖の衣にまで穴をあけてしまったが、忠義の心に厚い倉庫番の忠告を素直に聞き入れて謝罪し、太祖の我が子に対する期待に十分にこたえたこと。
- ③ 太祖の鞍を鼠にかじられた倉庫番の身を思いやり、わざと自分の衣に穴をあけ鼠にかかわる俗信に対する太祖の反応を利用することによって、太祖の倉庫番に対する怒りをそらせ命を救ったこと。
- ④ 鼠が鞍までもかじらざるをえないことから倉庫の中の穀物が横領されている事実気づき、わざと太祖の衣に穴をあけて太祖の関心を巧みに倉庫番に向けさせることによって、強欲な倉庫番をこらしめたこと。
- ⑤ 倉庫番の不注意から大切な鞍を鼠にかじられ、それを不吉の予兆だとする俗信にとらわれて失意にあった太祖の気持ちを察し、自分の衣にも穴をあけるといふ子供らしい機知によって太祖の笑いを誘って慰めたこと。

問 6 傍線部 E「此我之不幸、汝曹之幸也。」とあるが、ここで太祖が「不幸」・「幸」といったのはなぜか。最も適当なものを、次の ① ～ ⑤ のうちから一つ選べ。解答番号は 34。

- ① 哀王が死んだことは、太祖にとっては優れた後継者を失ったことを意味し、文帝らにとっては有力な競争相手がなくなったことを意味しているから。
- ② 哀王が死んだことは、太祖にとっては賢明な臣下を失ったことを意味し、文帝らにとっては平素は近よりがたい父をこの機会を利用してなだめえたことを意味しているから。
- ③ 哀王が死んだことは、太祖にとっては的確な助言をしてくれる人物を失ったことを意味し、群臣にとっては後継者が嫡男である文帝に決着し、争いに巻き込まれなくてすむようになったことを意味しているから。
- ④ 哀王の死に対して太祖がひどく悲しんだことは、太祖にとっては愛情に溺れたさまを群臣の前にさらすことを意味し、文帝らにとってはふだんは冷徹な父のみせた情愛にふれることができたことを意味しているから。
- ⑤ 哀王の死に対して太祖がひどく悲しんだことは、太祖にとっては一時的に後継者問題を的確に処理する能力を失ったことを意味し、群臣らにとっては文帝を後継者に推す絶好の機会が到来したことを意味しているから。

